



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

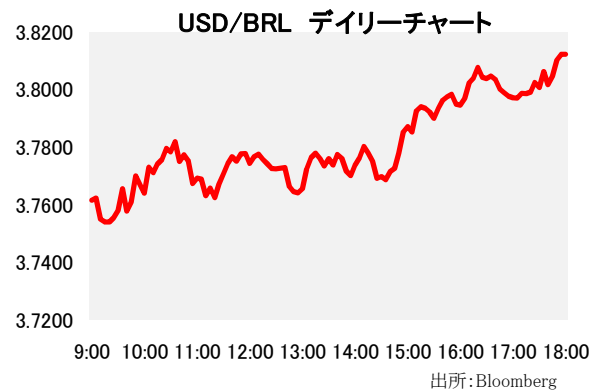
1. マーケット・レート

			12月4日	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7520	3.7680	3.7960	3.7520	3.8120	+0.0600
	BRL/JPY	Spot	32.83	32.72	32.40	32.33	31.90	-0.43
	EUR/USD	Spot	1.0870	1.0847	1.0889	1.1025	1.0937	-0.0088
	USD/JPY	Spot	123.21	123.32	123.04	121.24	121.65	+0.41
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	15.014	15.013	14.968	14.957	15.092	+0.136
	Future	1Year(p.a.)	15.670	15.696	15.718	15.704	15.911	+0.207
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	3.002	3.084	3.258	3.337	3.305	-0.032
		1Year(p.a.)	3.974	4.091	4.202	4.272	4.184	-0.088
株式	Bovespa指数		45,361	45,223	44,443	46,108	45,631	-477
CDS	CDS Brazil 5y		448.88	454.17	463.77	460.05	481.79	+21.74
商品	CRB指数		183.242	178.568	177.393	177.560	177.028	-0.53

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

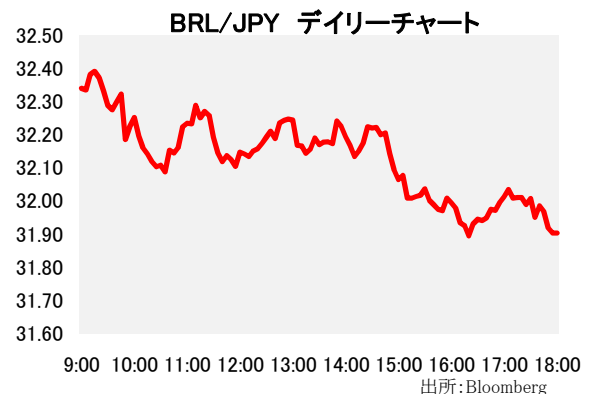
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	1.09%	1.04%	0.99%
IGP-M Inflation 1st Preview	0.92%	0.44%	1.31%
(米)輸入物価指数(前年比)	-9.6%	-9.4%	-10.7%
(米)新規失業保険申請件数	270k	282k	269k
(米)ブルームバーグ消費者信頼感	--	40.1	39.6
(米)月次財政収支	-\$64.5b	-\$64.6b	-\$56.8b



3. 要人コメント

トンビニ伯中銀総裁	レアル安はブラジルの金融不安が原因ではない。2016年の物価水準は経済に良い影響をもたらすだろう。ブラジル中銀は消費者物価を2017年に4.5%に誘導するための手段を取って行く。
-----------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる3.7430で寄り付いた。昨日のムーディーズによるブラジル格付けのアウトルック変更を受けて、本日のレアルは寄り付きから売りが優勢で、その後も終日ジリ安の展開となった。一部の投資家に2017年もマイナス成長が続くとの見方が広まり、ブラジル国債のCDSが7週間ぶりの水準まで上昇する中、レアルは安値となる3.8130まで下落し、3.8120でクローズした。
- OPECが公表した月報では11月の石油生産が2012年4月以来、約3年半ぶりの高水準となった。OPEC加盟国が低価格で非加盟国に対する圧力をかける戦略が継続して行くことへの不安を背景に本日の原油先物価格は続落し、WTI先物直近限月ものは一時1バレル36.52ドルとなり、6年ぶりの安値を更新した。原油安に加えて昨日のムーディーズによるブラジル格付け見通しのネガティブウォッチへの変更もあり、ボベスパ指数は反落し、前日比約1%の下落となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。